ENGAGE ROTARY
CHANGE LIVES

http://www.rid2550.com/

ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

Governor's Monthly Letter

2013 -2014 Vol.10

国際ロータリー第2550地区　ガバナー月信　4月号 April

宣教師フランシスコ・ザビエルが世界に紹介した日本最古の学校「足利学校」

CONTENTS

【対談】
全国・世界を結ぶ「ロータリーの友」の読み方、使い方 …… 1

公式訪問を終えて …… 3

IM 開催の報告 …… 4

「国際親善の懸け橋」誓って
ロータリー米山奨学生歓送会 …… 6

2 月会員増強・出席報告 …… 7

田沼ロータリークラブ
創立 50 周年を迎えて …… 8

新入会員紹介 …… 8

ロータリーの実践 …… 9

ロータリー財団およびロータリー
米山記念奨学会功労者

Rotary

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として
奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある：

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

News

ロータリーレート／1$＝102円

主要行事

- 4/13（日） 米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション
- 4/20（日） 2014-15 地区研修・協議会（地区協議会）
- 4/26（土）～27（日） 足尾植樹奉仕活動
- 4/27（日） ローターアクト第40回地区年次大会
- 5/11（日） 栃木西ロータリークラブ創立50周年記念式典
- 5/24（土） 栃木ロータリークラブ創立60周年記念式典
- 6/1（日）～4（水） RIシドニー国際大会

表紙の写真は、第 2550 地区第 8 グループのシンボル足利学校の学校門。

ガバナーメッセージ　　4月：雑誌月間

【対談】

全国・世界を結ぶ「ロータリーの友」の読み方、使い方

4月は「雑誌月間」。毎月あたり前のように届いているこの「ロータリーの友」を、ロータリアンの皆さんはどう読み、どう活用しているでしょうか。飯村慎一ガバナーが二神典子ロータリーの友編集長を訪ね、発行する立場からの思いをうかがいました。

ロータリーの友編集長　二神　典子　　第2550地区ガバナー　飯村　慎一

司会・卯木伸男（第2550地区ガバナー月信編集委員長）

司会　「雑誌月間」にちなみ、対談をお願いしました。まず、ロータリー活動の中で「ロータリーの友」をどのように活用したらよいとお考えでしょうか。

二神　この雑誌は「読んで終わり」ではなく、活用して初めて役割を果たせます。ロータリーは多様性に富んでいます。いろいろなクラブの状況を知るには、直接行ってみるのが一番いいと思いますが、それは不可能ですから、「ロータリーの友」誌を通して自分のクラブの活動のヒントを得るというような使い方をしていただければと思います。

飯村　「ロータリーの友」の構成は縦書きと横書きに分かれていますね。横書きがRI関係など全体的な情報で、縦書きがロータリー会員のコミュニケーションの場になっているようです。二神さんがおっしゃったように、ほかのクラブの活動などが分かって非常に有効です。特に卓話などは行かなくても「ロータリーの友」を読めばお話しの内容が分かります。ただ、縦書きと横書きの区別が、初めて読む人はよく分からないのではないでしょうか。

二神　なぜ縦書きと横書きなのかということは、一番よくいただく質問です。「ロータリーの友」は、戦後間もなく、今から60年ちょっと前に創刊され、当時、ほとんどの日本の雑誌が縦書きだった中、横書きでスタートしました。ロータリーの用語などを入れることを考えれば、それが便利だったのかもしれません。その後、縦書きも入れるようになり、時代とともに整理をされ、きちんと分かれたのは1972年の1月からです。飯村ガバナーが言われたように、会員同士の情報交換は縦書きに、RIから認可を受けた地域雑誌の役割として、ロータリー情報を伝達するという公式的なものを横書きとしています。ですから例えば、同じクラブの活動を取り上げる場合でも、縦書きはそのまま載せしていますが、横書きはテーマを決め、その内容に沿った活動を掲載する形になっています。

司会　「ロータリーの友」の中で一番読んでいただきたいのはどの紙面でしょうか。

二神　作っている立場からは「ここを一番読んでほしい」というのはありません。クラブの事情や会員さんの興味、会員歴、どのような委員会に所属しているかなどで何を読むかが違ってくるでしょうから、それぞれに合わせて重要と思われるものを読んでいただけばいいと思っています。ただ、活用という面か

「ロータリーの友」事務所にて

らいえば、ロータリーは単年度で役職が替わりますので、今は興味がなくても、来年度は必要になるかもしれません。３年分ぐらい置いておいていただけば、お役に立つ機会があると思います。ガバナーは最初にどこから読まれますか。

飯村　会長のRIのメッセージです。特にそれぞれの「月間」をどう訴えているのかが、一番重要だと思っています。ただ、訴えてないときもあるんですよね。私はずっと固執して「ガバナー月信」では全部それに則った形で載せてきました。

司会　編集する中でのご苦労や楽しみを教えてください。

二神　自分としては苦労していると思ったことはありません。締め切りギリギリのものもありますが、綱渡りを楽しんでるようなところもあるかもしれません。役に立つと思っていただく方の顔を思い浮かべながら仕事をすることが楽しみになりますね。それからたくさんの人にお目に掛かれることでしょうか。国内のロータリアンはもちろん、海外の方も含めて、これだけ多くの人と出会い、お知り合いになることはほかの仕事ではないだろうと思います。

飯村　最初に二神さんにお会いしたのはカナダのモントリオールの国際大会でしたね。いろいろな地区大会にもいらっしゃっています。

ロータリーの友編集長　二神典子

二神　あちこちでお目にかりますね。それと雑誌を作る中で情報がほしい時に、一本お電話すれば、どんなにお忙しい方でもロータリーのことだったら時間を割いて情報を探してくださったり原稿を書いてくださるので、原稿集めも楽しくさせていただいているという感じでしょうか。

飯村　そのつながりは重要ですよね。

司会　レイアウトなど読んでもらうための工夫はありますか。

二神　昔に比べて写真が多くなっていると思います。ロータリアンの多くの方が活字離れの世代に入っていますので。また、できるだけ読んでいただけるような見出しを付ける努力をしています。小見出しだけ拾っていただければ、ざっと中を読んだ気分になれるような工夫をしています。

司会　「ロータリーの友」を継続的に発行するためには何が必要だと思いますか。

二神　意外な答えになるかもしれませんが、継続的に発行するために一番大事なものは資金です。地域雑誌の中には非常に財政が厳しく、継続できるかどうかの瀬戸際のところが結構多いのです。２年に１度世界の雑誌の編集長が集まる会議があり、２月に開催されて出席したのですが、毎回ここで一番大きな問題になるの地域雑誌の財政問題です。その点、「ロータリーの友」は恵まれていてありがたいと思います。ただ、私が編集長を引き継いだときは約12万部あったのですが、現在は９万5000部。資金不足も他人事とは言えなくなっています。コストダウンに努力していますが、このまま減り続けると対応しきれなくなります。皆さまに安定して購読いただき、資金を確保できることがやはり一番大切かと思います。また、皆さまからの投稿や情報提供がなかったらいい誌面ができないのはもちろんです。そのためには各クラブで活発に活動していただき、それをこちらに送っていただくということが、継続的に読んでいただく上では大切だと思うのです。

飯村　わが地区も17年間減少の一途をたどっていますので、何とか歯止めをかけようと頑張っています。

二神　「こんな活動はどこでもやっている」とご遠慮される方がよくありますが、活動されるということはどんなにささやかでも素晴らしいことだと思いますので、どんどん原稿を送っていただきたいと思います。例えば規模の小さなクラブがやられた小さな活動は、よその規模の小さなクラブの活動の参考になると思います。

司会　最後にロータリアンにとって「ロータリーの友」とはどんな存在だとお考えになりますか。

飯村　経営に当たっては、幹部や社員に経営理念、経営方針に沿って動いてもらわないとうまくいきません。1つの方向性を理解してもらうためには、共通した認識を発信することが非常に重要です。ロータリーの場合は、それが「ロータリーの友」だと思います。RI会長が120万人の会員にやってほしいことを発信していく。まさに会社の経営方針書のようなものではないでしょうか。

二神　原発事故のために会員が散り散りになって例会ができなくなったクラブが、福島県に3つあります。東日本大震災の半年後ぐらいのころかと思いますが、その3クラブの方々がガバナー公式訪問ということで、事故以来、初めて例会を開催をされました。お願いしてそこに出席させていただいたのですが、その時にあるロータリアンの方が「クラブの例会もできず、また仲間とも会えない中で、毎月届く『ロータリーの友』が自分がロータリアンだということを実感できる唯一のもの。だから何回も読んでいます」と言ってくださったのです。その言葉をお聞きして自分の仕事の責任の重さを痛感しました。それまでは当たり前のように届く「友」だったのだろうと思いますが、いろいろなものを失った時、「ないと寂しい」「これがあって良かった」と感じていただける存在でありたいと思っています。

第2550地区ガバナー　飯村愼一

司会　今日はお忙しい中ありがとうございました。

公式訪問を終えて

第2550地区ガバナー
飯村 愼一

2013年7月より12月まで、合同（2回）で5クラブを訪問し、また、個別に45クラブを公式訪問させていただきました。各クラブより、温かい歓迎を受けましたこと、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。午前の会長・幹事会では、現況報告書を下に各クラブの現状と将来について率直な意見交換ができ、有意義な会合でした。卓話では、RIテーマやロン・バートン会長のメッセージ、ロータリーの重要な問題等についてお話させていただきました。また、クラブ協議会では、各クラブの委員長や幹部の皆様から熱心なご意見や地区に対するご指摘等を受けまして、ガバナーとしても、大いに勉強になり、大変意義深い協議会となりました。

ロン・バートン会長の最も重視しているテーマの一つの会員増強に関しましては、私も、各クラブの皆様に重点的にお話させていただきました。ロータリー年度の後半に入り、会員増強の結果が出てきておりますが、今月号（4月号）の月信では、2月末までの会員の入会が98名、退会が49名で、純増が49名でございます。まだ中間ではありますが、このような良い結果が出ているのも、各クラブの会長・幹事をはじめ会員の皆様の会員増強に対する意識の高さとご尽力の賜物と、心より感謝申しあげます。毎年、6月に退会が多い傾向にありますが、引き続き会員維持にご協力いただき、第2550地区が年間を通じて会員の純増が達成できますよう、併せてよろしくお願い申しあげます。

Intercity Meeting Report — IM 開催の報告

第6グループ　IM報告

［開　催］2014年1月26日

第6グループガバナー補佐　　村上　正子　（栃木南RC）

今期は、第６グループ内（栃木RC、栃木西RC、壬生RC、栃木南RC）の親睦を図り、地域に根差した話題の講師を呼び楽しい“IM”にしたいという考えのもと企画いたしました。また、最近の会員減少の一因にロータリーへの理解が足りず、クラブになじめず辞めてしまう会員もいることから、瀬下パストガバナーに講話をお願いし、ユーモアにあふれた、ロータリーの楽しさ、意義を伝える新人のための研修会もしていただきました。

まずソプラノ歌手森谷和子さんのアカペラによる「君が代」斉唱、ゲストの鈴木パストガバナー様のごあいさつをいただき、日光出身の民謡日本一の古田佳子さんとヴリューゲルの演奏を楽しみました。

続いて栃木市出身の100歳の詩人“柴田トヨを語る”トークショーを行い、200万部を超す驚異のベストセラー「くじけないで」を世に出した産経新聞の押田雅治氏、トヨさんのご子息柴田健一さんと映画の栃木弁を考証した間中一代さんの３人で、楽しくお話ししていただきました。この模様はケーブルテレビで放映いたしました。地域へロータリークラブを身近に感じていただくいい機会になりました。開催のためにご尽力いただきました関係各位に深謝いたします。ありがとうございました。

第1グループ　IM報告

［開　催］2014年2月2日

第1グループガバナー補佐　　髙橋　智純　（西那須野RC）

２月２日、天候にも恵まれ無事かつ盛大に、第１グループのIMを挙行することができました。当日は飯村愼一ガバナーをはじめ、カウンセラー、助言、総括をいただきました半田久一パストガバナー、国際協議会よりお戻りになられたばかりの長嶋一郎ガバナーエレクト、そして記念講演をお願いしました中谷研一ガバナーノミニーという豪華な方々のご臨席を賜りました。第１グループ内会員数167名、当日出席者数118名、出席率70％以上と、今回で第24回となりますが、今までにない出席率に驚いているばかりです。

IMの目的は、概ね「親睦と情報交換」というところでございますが、今般の中谷研一ガバナーノミニーの「子育て支援（いじめ、不登校、ひきこもり）」の講演は、新世代、青少年の置かれている諸問題の実情を把握し、対処していこうとしている私たちを後押ししてくれるお話でした。

最後は一同が「手に手つないで」の曲で輪を作り、第２部の懇親会並びにアトラクション含め、実りあるIMを終了できました。

第4グループ　IM報告

［開　催］2014年2月9日

第4グループガバナー補佐　　上野　秀雄　（しもつけRC）

前日の雪も曇り空にかわり落ち着いた日になりました。はじめに新入会員オリエンテーションが午後１時30分より行われました。上野ガバナー補佐、高山忠則事務局の司会で始まり、講師の小山東RC柿沼幸宏様のお話しがありました。真岡RC10名、益子RC ４名、真岡西RC ４名、しもつけRC ２名の合計20名で、参加した会員は熱心にメモをとっていた様子で、内容の濃いオリエンテーションになりました。

２時30分より本会議が開催され、各クラブの会長より事業報告がありました。３時30分より「国際情勢について」と題して、

宇梶一憲自衛隊栃木地方協力本部副本部長より講演をいただきました。

普段はなかなか聞くことのない面白いお話で会員の皆様も興味津々に聞き入っていました。５時30分からは懇親会が開かれ、ガバナー飯村愼一様にはお忙しい中駆けつけていただきました。懇親会はフラダンス、ジャズバンドなどで楽しい時を過ごし、最後まで時間を忘れて盛り上がりました。IM参加の各会会員の皆様に有意義な１日であれば幸いです。

第5グループ　IM報告

［開　催］2014年2月23日

第5グループガバナー補佐　　田村　昭夫　（小山東ＲＣ）

第５グループのIMが２月23日、小山東ロータリークラブ主管によりヴィラ・デ・マリアージュで開催されました。来賓として、飯村ガバナー様、大久保小山市長様をはじめ、多くの方々に、ご臨席を賜りました。

式典前に、小山工業高等専門学校のロボコンの実演を催しました。参加者興味津々で見入っていました。１部の式典に入り今年度後半の新入会員にガバナーよりバッジを着けていただきました。また、５クラブ共同の社会奉仕事業の発表があり、小山市に対し、虐待防止基金として、田村ガバナー補佐より贈呈式を行いました。２部では、小山高等専門学校長苅谷勇雅先生の「小山の歴史まちづくりをめざ

して」と題した講演を拝聴しました。３部の大懇親会では、カントリー＆ウェスタンを聴きながら親睦の和を深め、最後に「手に手つないで」を斉唱し締めとしました。皆さん名残り惜しそうに会場を後にしました。関係者各位のご協力に感謝し報告とさせていただきます。

「国際親善の懸け橋」誓って米山奨学生歓送会

ロータリー米山記念奨学会委員会委員長 **恩田　光憲**（宇都宮西RC）

2013-14年度の米山奨学生の歓送会が2月16日（日）、ホテルニューイタヤで開催されました。当日は前々夜から関東甲信を襲った大雪の影響がいまだ多く残った状態でした。甲府では1m以上の積雪という記録的な大雪で、県内も停電や、断水といった地域もあったようです。そういう状況にもかかわらず、早朝から、たくさんの方に参加いただきました。世話クラブ、カウンセラーを務めていただいた皆様方には、深く御礼申しあげます。

今年は、2年継続が4名、1年が10名計14名の修了生を送り出すことができました。足利工業大学のラムサル・ビカズ君（ネパール）が修了生代表であいさつしました。世話クラブでの奉仕活動への参加のことや、いくつかのクラブを訪問しスピーチした経験などの話には、精力的に米山奨学生として行動した様子が伺えました。ラムサル君はかなり積極的な方でしたが、他の奨学生の方々も、一人ひとり感想をスピーチし感謝の気持ちを述べていました。

米山は、数ある国の中から日本を留学先に選び勉学、研究に励む留学生を支援し、将来日本との国際親善の懸け橋になってもらうことを目的としており、その目的にかなう学生を選考し支援しています。それぞれのスピーチからはその目的がかなり達成された、また将来さらに達成されていくであろうと感じました。そのようなことを見ると米山はロータリーの活動の中で最も意義のある一つだと思います。また、世話クラブを経験し、直接奨学生と接していただき国籍などにかかわらず肌と肌の交流をしていただくことにより、ますますその意義を感じることができると思います。写真は最後の集合写真です。明るく、希望をもっている奨学生たちです。

今後とも米山奨学会へのご協力をお願い申しあげます。

歓送会に集合した米山奨学生

第２５５０地区　２月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例会数	２月出席率		会員数							
			今月	平均	７月１日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	4	89.50	85.91	31	34	0	0	4	1	3	2
	黒磯	4	80.50	83.67	39	40	0	0	2	1	1	2
	西那須野	3	89.81	89.19	37	38	0	0	1	0	1	0
	黒羽	4	94.23	94.38	13	13	0	0	0	0	0	0
	那須	3	82.61	85.81	10	10	0	1	1	1	0	2
	塩原	4	70.45	67.76	7	11	4	0	4	0	4	3
	大田原中央	4	64.00	68.50	26	25	0	0	0	1	-1	2
第2グループ	烏山	3	84.85	91.14	10	11	0	0	1	0	1	1
	氏家	4	79.07	81.96	25	26	0	0	1	0	1	0
	矢板	3	75.95	71.61	18	20	0	0	2	0	2	4
	馬頭小川	4	87.50	87.47	20	20	0	0	0	0	0	0
	高根沢	4	82.00	82.81	16	16	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	3	76.80	76.46	87	99	0	0	14	2	12	0
	宇都宮西	4	81.80	82.60	72	71	0	0	0	1	-1	0
	宇都宮北	4	75.28	78.53	45	48	0	0	4	1	3	0
	宇都宮90	3	85.70	89.67	40	41	0	0	1	0	1	3
	宇都宮陽北	3	71.57	80.92	34	35	1	0	1	0	1	3
第3グループB	宇都宮東	3	92.78	94.94	98	101	0	0	6	3	3	0
	宇都宮南	4	75.57	85.64	43	46	0	0	4	1	3	0
	宇都宮陽東	4	67.67	80.81	42	41	1	0	1	2	-1	0
	宇都宮陽南	4	70.30	83.07	16	15	0	0	0	1	-1	2
第4グループ	真岡	4	83.82	84.51	54	53	0	0	1	2	-1	0
	益子	4	88.30	87.90	25	29	0	0	4	0	4	0
	真岡西	3	96.37	92.98	35	37	1	0	2	0	2	6
	しもつけ	3	96.55	93.98	30	31	0	0	1	0	1	7

分区	クラブ名	例会数	２月出席率		会員数							
			今月	平均	７月１日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第5グループ	小山	4	93.40	95.28	33	34	0	0	4	3	1	0
	小山南	4	100.00	95.95	20	21	1	0	3	2	1	4
	小山東	4	86.98	87.63	29	30	0	0	1	0	1	0
	小山北	4	85.70	80.11	22	21	0	0	0	1	-1	0
	小山中央	3	74.80	75.50	21	23	1	0	2	0	2	1
第6グループ	栃木	4	77.00	83.03	36	37	1	1	7	6	1	1
	栃木西	3	91.02	86.35	32	32	1	0	1	1	0	0
	壬生	4	79.42	81.36	16	17	0	0	1	0	1	1
	栃木南	4	86.75	89.11	30	31	0	0	3	2	1	6
第7グループ	日光	4	80.88	80.71	22	22	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	4	79.34	82.65	60	61	0	0	1	0	1	1
	今市	4	87.81	88.19	38	41	0	0	4	1	3	0
	鹿沼東	4	87.53	92.17	41	39	0	0	1	3	-2	3
	粟野西方	4	85.00	85.40	11	10	0	0	0	1	-1	1
	鹿沼中央	3	83.33	84.75	21	22	0	0	1	0	1	1
	今市きぬ	3	96.43	95.35	26	28	0	0	2	0	2	1
第8グループ	足利	4	69.79	67.82	30	24	0	0	2	8	-6	0
	足利東	3	72.37	72.08	53	54	0	0	2	1	1	8
	足利西	4	75.00	77.27	16	16	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	93.75	98.33	31	32	0	0	1	0	1	0
第9グループ	佐野	3	86.60	89.83	65	69	0	0	4	0	4	0
	葛生	3	87.50	91.11	31	32	1	0	3	2	1	0
	田沼	4	95.34	89.59	39	39	0	0	0	0	0	0
	佐野東	4	86.36	86.74	22	22	0	0	0	0	0	0
	岩舟	3	82.40	82.78	9	8	0	0	0	1	-1	0
	５０ＲＣ		83.35	84.83	1627	1676	12	2	98	49	49	70

文庫通信 318号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

最近の資料から

［申込先：ロータリー文庫］

- 「魅力的なクラブ創り」……北 清治／2013／9p(D.2780地区大会報告書)
- 「『ロータリーに魅せられて』ロータリーは新会員とともに」……坂本俊雄／2014／10p(D.2710地区大会特集号)
- 「変わりつつあるロータリー」……江崎柳節／2013／7p(D.2800地区大会記念誌)
- 「『ロータリーの目的』とRI戦略計画」……南園義一／2013／8p(D.2700地区大会の記録)
- 「国際ロータリーの動向とロータリー財団」……三木 明／2013／5p(第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
- 「過去を内省し、新しきものを統合していこう－ロータリー創立100周年後の歩みで感じたこと」……黒田正宏／2013／51p
- 「ポリオが地球から消える日『世界の子どもたちとの約束を果たそう』」……北山輝夫／2013／2p(D.2830地区大会記録誌)
- 「ポリオとの戦い－根絶間近のインドから」……ロケシュ・グプタ／2013／5p(D.2830地区大会記録誌)
- 「トルコの識字プロジェクト支援／ロータリーへの目覚め」……重田政信／清 章司／D.2840／2013／1p(私のロータリーモメント)

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3 階
TEL 03-3433-6456
FAX 03-3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前 10 時～午後 5 時
休館＝土・日・祝祭日

ロータリーの友 3月号への第2550地区からの掲載記事

田村嘉應 友地区代表委員

◆ **特集　世界ローターアクト週間　世界を広げるローターアクター**　（敬称略）
フリーマーケット開催　第2550地区　ローターアクトの活動資金調達、地域の人たちとの交流、収益金の一部を児童養護施設に寄贈などをしています。

◆ 地区外の記事になりますが、姫路西RCでは鹿沼東RCからの教示により津波から命、生活を守ろうと、タブノキ里親プロジェクトを実施しています。

今月も第2550地区からの掲載は低調でした。「ロータリーの友」にもっと親しんでくださることを期待しています。友3月号41ページに投稿の詳細が記載してあります。

この欄に第2550地区からの掲載記事を毎回ご紹介しています。3月号の掲載は左記1件でした。この次はあなたのクラブの記事です。

ロータリーの友へのご投稿・お問い合わせは下記へ。どうぞ積極的な投稿をお待ちしています。

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階　一般社団法人ロータリーの友事務所
TEL 03-3436-6651　FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

お知らせ　**例会日変更**　塩原ロータリークラブ（平成26年3月より）木曜日

田沼ロータリークラブ
創立50周年を迎えて

田沼ロータリークラブ 幹事　町田　英夫

田沼ロータリークラブは、今年度創立50周年を迎えました。これを記念して平成26年2月22日(土)、道の駅どまんなかたぬま例会場において「田沼ロータリークラブ創立50周年記念式典」を挙行しました。

式典には、飯村愼一第2550地区ガバナー、岡部正英佐野市長をはじめ、多数のご来賓のご臨席のもと、会員令夫人を含め、約90名の出席者により盛大かつ厳粛に行われました。田沼ロータリークラブ新井孝夫会長は創立以来田沼ロータリーを育てていただいたロータリークラブ関係者に心からの謝意を述べ、田沼ロータリークラブの歴史を踏まえながらロータリー活動の現状について報告するとともに、今後も会員一丸となってロータリー精神を次世代に引き継いでいくことを誓いました。さらに、記念事業の発表、感謝状贈呈、表彰、来賓祝辞がありました。

式典後、記念祝賀会が開催され、ジャズ演奏を聴きながら会員並びに出席者全員が時の経つのを忘れて楽しいひと時を過ごしました。

田沼ロータリークラブは、次の50年に向かってさらにロータリー活動を活発化していくことを会員全員お誓い申しあげ創立50周年記念式典の報告といたします。

飯村愼一ガバナーと新井孝夫会長

みんな並んで記念撮影

新入会員紹介

まつばら　のりゆき
松原　紀幸
宇都宮陽東RC
(株)松原運輸
代表取締役
平成26年2月1日入会

よろしくお願いします。

よこた　まなぶ
横田　学
小山中央RC
(株)ヒタチ設備
代表取締役
平成26年2月3日入会

皆様のご指導を賜りながら活動してまいります。よろしくお願いいたします。

いしがき　けんいち
石垣　健一
栃木RC
(株)日本旅行栃木支店
支店長
平成26年2月5日入会

ロータリーを通して、地域貢献に努めたいと思います。よろしくご指導ください。

みのわ　あきひと
三野輪 明人
足利RC
(株)JTB関東法人営業
両毛支店　支店長
平成26年2月7日入会

ロータリーの皆様と親睦を深め、ロータリーを通じて自分を磨きたいと思います。

やまぐち　ともくに
山口　友邦
宇都宮陽北RC
宇都宮花き精算(株)
代表取締役
平成26年2月18日入会

ロータリーの活動を通して微力ながら社会貢献に努めてまいりたいと思います。

しのざき　こうじ
篠崎　宏司
しもつけRC
上三川ホースパーク
代表者
平成26年3月1日入会

72年の人生への恩返しのつもりです。馬と英語でお役に立てればと思います。

おの　としみつ
小野　利光
しもつけRC
(有)小野金型製作所
取締役会長
平成26年3月1日入会

何も分かりませんので、これからよろしくお願いいたします。

まつしま　まこと
松島　誠
小山中央RC
松島登記測量事務所
代表
平成26年3月3日入会

諸先輩方のご指導のもと、地域貢献してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

シリーズ ロータリーの実践 Vol.6

タイ・トンブリロータリークラブとのWCS報告

しもつけロータリークラブ　国際奉仕委員長　荒川　直男

しもつけロータリークラブにおいては、今回で11度目の対外支援事業参加である。

今年度も2月11日から17日まで、会員・家族12名とともに、タイ・トンブリロータリークラブの主導する「図書と運動用具を贈る事業」（WCS）に参加した。トンブリロータリークラブは、タイを代表するクラブで、ビチャイ・ラタクル元RI会長の所属クラブである。

今回の事業内容は、主にタイの11の小学校に、図書と運動用具を贈ることだった。あの大洪水で被害を受けた小規模の学校に、児童図書400冊・運動用具（サッカー・バスケットなどのボール、バドミントン用具など）、またタイ英辞典などを贈呈した。

もう10数年共同事業をしているので、トンブリロータリークラブの人たちとも家族同様のおつき合いをいただいている。11日もスワンナプーム国際空港に出迎えをいただき、バンコクのナラヤホテルのトンブリロータリークラブ主催の歓迎パーティーに直行。お互い、久々の出会いを祝福した。

パーティーは大盛り上がり。日本からは京都南・八幡ロータリークラブが参加した。翌日はトンブリクラブの会長さん以下主なメンバーが同行し、アユタヤに移動。シンブリ県の田舎の小学校2カ所において、贈呈式を行う。さすがにトンブリクラブのおかげで、行く先々のロータリークラブ（アユタヤ・シンブリなど）が共同参加。設営に協力している。

なおトンブリロータリークラブの会長さん以下主だったメンバーは、その活動にすべて同行。徹底して奉仕活動をしているのには、ただ感動するばかりである。特に10年来お世話になっているビチャイ・マノさんは、同志社大学出身で、日本語は堪能。息子さんも早稲田大学の卒業なので、日本人より日本人的な人である。ただ感謝するのみである。

トンブリロータリークラブとの交歓風景

ロータリー財団およびロータリー米山記念奨学会功労者のみなさま

ご厚意に対し、深く感謝申しあげます。

ポール・ハリス・フェロー 2013年12月～14年1月

山本　郁夫	しもつけ
菊澤　洋之	佐　野
嶋田　完治	栃　木
緒形　　憲	栃　木
大澤　光司	栃　木
樋口　　晃	宇都宮西
星野　隆一	宇都宮西
狐塚　秀幸	今　市
粉川　昭一	今　市
大井田宗継	鹿　沼
川邉　　清	鹿　沼
奈良部幸子	鹿　沼
山崎　良知	鹿　沼
片柳　克敏	葛　生
小暮　道樹	日　光
髙橋　正晃	西那須野
押山　勇人	田　沼
鈴木　義忠	宇都宮 90
小林　　裕	宇都宮南
坂本　昭一	宇都宮南
村上　修一	宇都宮陽北
尾崎　弘明	小山南
吉森　市郎	小山南
高橋久美子	小山南
柏崎　和己	栃木西

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 2013年12月～14年1月

竹村　福夫	しもつけ	1 回
公文　初江	しもつけ	1 回
上野　秀雄	しもつけ	1 回
小島　節夫	しもつけ	1 回
海老原　茂	しもつけ	2 回
髙山　忠則	しもつけ	1 回
西畑　延行	栃　木	1 回
山口　武夫	栃　木	1 回
滝田　有彦	宇都宮西	2 回
北村　長榮	宇都宮西	6 回
塩濱　茂夫	宇都宮西	4 回
横堀　太郎	宇都宮西	1 回
里村　佳行	宇都宮西	2 回
木内　裕祐	宇都宮西	2 回
五味渕昭夫	宇都宮北	4 回
中村　　弘	宇都宮北	2 回
鳥取　　博	宇都宮北	1 回
小倉　和己	宇都宮北	1 回
五十嵐　章	足利東	2 回
小和田　功	足利東	2 回
家富　宮子	足利東	1 回
新里　元二	足利東	3 回
岡本　篤典	足利わたらせ	1 回
福田　政一	今　市	3 回
上原　昭郎	鹿　沼	2 回
黒本　敏夫	鹿　沼	4 回
柴田　好雄	鹿　沼	2 回
黒田　雄一	鹿　沼	2 回
萩原　新也	益　子	2 回
岡崎　彰廣	日　光	2 回
速水　　巌	日　光	3 回
多島　信彦	日　光	2 回
相良　芳隆	日　光	3 回
福本　光夫	西那須野	2 回
川田　　守	田　沼	1 回
飯島　　満	田　沼	1 回
内田　瑞夫	田　沼	1 回
川久保真治	田　沼	1 回
山菅　利雄	田　沼	1 回
大澤美枝子	栃木南	1 回
池添　　栄	栃木南	2 回
塩井　賢一	宇都宮 90	1 回
糸井　規雄	宇都宮 90	3 回
飯村　慎一	宇都宮 90	7 回
平澤　照隆	宇都宮南	1 回
仲田　俊夫	宇都宮南	3 回
村上　芳弘	宇都宮南	2 回
高橋　和夫	宇都宮陽北	2 回
長　　正英	宇都宮陽北	1 回
佐藤　　節	宇都宮陽北	3 回
長嶋　一郎	大田原	1 回
近藤　　稔	小山南	3 回
長嶋　一郎	大田原	3 回

ベネファクター 2013年12月～14年1月

市田　　登	鹿　沼
新井　孝夫	田　沼
熊倉　　勝	佐　野

米山功労者 2013年12月～14年1月

矢嶋　昭司	宇都宮	4 回
藤島　　拓	宇都宮南	1 回
藤井　康夫	宇都宮南	3 回
平澤　照隆	宇都宮南	4 回
金田　秀壽	宇都宮南	5 回
仲田　俊夫	宇都宮南	8 回
織田　宏二	宇都宮北	17 回
鳥取　　博	宇都宮北	1 回
廣瀬　淳雄	宇都宮北	1 回
佐藤　　晃	宇都宮北	1 回
関根　則次	宇都宮北	1 回
山本　直由	宇都宮北	5 回
菊池　定俊	宇都宮陽北	1 回
村上　修一	宇都宮陽北	1 回
佐藤　　節	宇都宮陽北	4 回
熊倉　　学	宇都宮陽北	4 回
片野　眞雄	高根沢	11 回
五月女久和	今　市	2 回
片野　茂昌	今　市	2 回
中野　光一	今　市	2 回
宮本　二郎	今　市	2 回
渡辺　寿子	鹿沼中央	2 回
石川　昭男	鹿沼東	3 回
木村　剛考	鹿沼東	5 回
五十畑利一	小　山	5 回
杉本　　實	小　山	5 回
坂井　秀伸	小　山	5 回
石塚　勝彦	小　山	6 回
宇井　邦和	小　山	6 回
知久　静江	小山南	1 回
滝沢　重雄	小山南	2 回
瀬野　公男	小山南	4 回
近藤　　稔	小山南	7 回
安部　貴則	小山北	1 回
角橋　　徹	西那須野	3 回
伊藤　俊三	西那須野	4 回
益子　　浩	西那須野	4 回
渡邉　　渉	西那須野	4 回
高橋　智純	西那須野	6 回
氷見　定明	西那須野	6 回
関谷　直人	西那須野	7 回
倉林　　宏	足利わたらせ	1 回
飯島　　満	田　沼	2 回
長谷川　潤	田　沼	5 回
埋橋　英夫	栃木南	1 回
神山美恵子	栃木南	1 回
廣田　泰子	栃木南	2 回
佐山　光兌	栃木南	3 回
三ツ山一明	日　光	5 回
内田ヨシ子	矢　板	2 回
髙野　藤房	宇都宮東	7 回
福田　紳一	佐　野	10 回
藤波　一博	佐　野	1 回
篠崎　博司	佐　野	21 回
茂木　弘司	佐　野	2 回
熊倉　　勝	佐　野	3 回
青山　敏朗	佐　野	5 回
秋山　欣治	佐　野	6 回
菊澤　洋之	佐　野	7 回
藤沼　邦男	佐　野	7 回
市村　忠男	真　岡	1 回
久保　康夫	真　岡	1 回
野澤　　巧	真　岡	1 回
田村　浩次	真　岡	1 回
廣田　　茂	真　岡	1 回
大瀧　守一	真　岡	1 回
宇賀神裕一	真　岡	2 回
谷中　洋子	真岡西	3 回
細谷　　覚	真岡西	1 回

米山功労クラブ 2013年12月～14年1月

宇都宮	38 回
宇都宮南	29 回
宇都宮北	31 回
宇都宮陽北	11 回
高根沢	5 回
小　山	29 回
小山南	14 回
小山北	15 回
足利わたらせ	12 回
塩　原	4 回
佐　野	31 回

国際ロータリー第 2550 地区　ガバナー事務所

〒320-0826　宇都宮市西原町 142　宇都宮グランドホテル内　1 階

TEL 028-651-2550　FAX 028-651-2551

E-mail　m2550@agate.plala.or.jp

※各ロータリークラブでおしらせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。